

- ①水稲と園芸作物による複合営農への取組を支援し、農業経営の安定化を目指します。
- ②付加価値の高い農産物による販路開拓を支援し、農業所得の向上を図ります。
- ③意欲ある農業経営者を支援するとともに、若い人材の経営参画を促進し、農業の持続的発展を図ります。

魅力ある農産物の生産拡大

農産物販路拡大推進事業 **拡**

【予算額】 858万円 (予算書P.131)

市内農産物の消費活性化や販路拡大のため「つばめ食べて応援キャンペーン」を開催するとともに、ECサイト出展等助成制度を新設します。

- ◆つばめ食べて応援キャンペーン
農業まつりと連携を高めて開催
- ◆ECサイト販路開拓応援補助金 (3年間限定)

- ・対象 ECの導入費用
- ・補助率 1/2以内、上限額50万円

【担当課】 農政課



園芸作物産地化推進事業 **新**

【予算額】 625万円 (予算書P.133)

園芸の産地化を図るため、園芸作物の作付面積に対し助成するとともに、新たな食材ニーズの産地化を研究する「農産物地商地産プロジェクト」を実施します。

- ◆園芸作物産地化推進補助金 (新設)
えだまめ、たまねぎ 3万円/10a
- ◆農産物地商地産プロジェクト



飲食店の食材ニーズと生産農家の栽培可能性をマッチング 【担当課】 農政課

水田経営力強化推進事業 **拡**

【予算額】 5,488万円 (予算書P.135)

所得向上による農業者の経営基盤強化を支援するため、主食用米以外の収益性の高い販売作物の作付面積等に応じて助成を行います。

- ◆輸出用米 3千円→1万円 (10a当り)
- ◆直播栽培 3千円→5千円 (10a当り)
(拡大部分に限定)

- ◆大豆 1等 25円→30円 (kg当り)
2等 15円→20円 (kg当り)

【担当課】 農政課

チャレンジ・ファーマー支援事業

【予算額】 1,000万円 (予算書P.131)

経営規模拡大に必要な機械等の導入や、農業経営の複合化、先進技術導入など、所得向上に向けてチャレンジする農業者を支援します。

- ◆補助率 1/4 (若手枠は1/2)
- ◆上限額
 - ・規模拡大支援 : 150万円
 - ・複合営農等支援 : 50万円
 - ・先進技術導入支援 : 100万円

【担当課】 農政課



担い手の確保

踏み出せ！農業！スタートアップ事業 **新**

【予算額】 140万円 (予算書P.133)

新たな担い手の確保を図るため、農業に興味をもつ就農希望者に対し、農業技術習得等の研修費用と農地借り入れ費用を支援します。

- ◆技術・知識・資格習得支援
 - ・対象経費 農業大学校授業料、研修受講料、先進農家が行う農業研修費等
 - ・補助率 1/2、上限額10万円
- ◆農地確保支援
 - ・対象経費 農地賃借料
 - ・補助率 1/2
 - ・上限額30万円 (最大3年) 【担当課】 農政課

農地・里山の環境保全

里山等の森林資源活用推進事業 **新**

(森林整備費)

【予算額】 28万円 (予算書P.137)

森林環境保全活動を推進するため、国上山遊歩道の点検や補修、倒木整理に取り組む団体を支援します。【担当課】 農政課



もみ殻等循環支援事業 **新**

【48ページ参照】 【担当課】 農政課

- ①循環型社会の構築に向けて再資源化の推進を図るとともに、新たな最終処分場の建設に向けた検討を開始します。
- ②生産活動に伴い発生する環境負荷を軽減する取組を支援し、地域の環境保全を推進します。
- ③市民一人ひとりの環境保全への意識を高めるため、環境美化活動への参加を促進します。

再資源化の推進

カンカンBOOK事業 (塵芥処理費、保育園運営費)

【予算額】
アルミ缶等回収費用 5万円 (予算書P.123)
図書購入費(売却益) 15万円 (予算書P.93)
市内の事業所からアルミ缶及びスチール缶を寄附していただき、資源ごみの再資源化を促進するとともに、その売却益を市内保育園等の図書購入費に活用します。



【担当課】生活環境課、子育て支援課

ペットボトルリサイクル推進事業 (障がい者就労支援事業)

【予算額】399万円 (予算書P.123)



収集したペットボトルの異物除去作業等を障がい者施設に委託することで、障がい者の就労支援とリサイクルの推進を図ります。

【担当課】生活環境課

小型家電リサイクル推進事業 (障がい者就労支援事業)

【予算額】56万円 (予算書P.123)



小型家電製品に含まれる有用金属の再資源化と不燃ごみの減量化を図るため、障がい者施設と連携して、使用済小型家電製品の分別処理を行います。【担当課】生活環境課

最終処分場の建設に向けた検討

新最終処分場建設計画策定事業 **新**

【予算額】812万円
【事業期間】令和3~4年度

現最終処分場は早ければ令和11年度に計画埋立容量に達する見込みであるため、新しい最終処分場の建設に向けた調査等を開始します。

- ◆基本調査の実施
 - ◆一般廃棄物処理基本計画等の策定
- 【担当課】燕・弥彦総合事務組合 総務消防局

※詳細は「燕・弥彦総合事務組合 一般会計予算概要」を参照

地域の環境保全の推進

環境負荷低減対策支援事業

【予算額】1,873万円 (予算書P.141)

トリクロロエチレン等の揮発性有機化合物の適切な使用を促し、大気中への排出を抑制します。

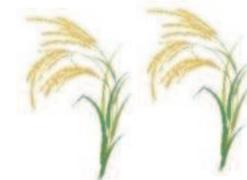
- ◆資格取得のための講習受講料、個別指導料の補助
 - ◆回収装置等の導入費補助 補助率1/2
新設:上限額250万円
改修:上限額50万円
- 【担当課】商工振興課

もみ殻等循環支援事業 **新**

【予算額】180万円 (予算書P.133)

稲の乾燥調製時に発生するもみ殻や粉塵を適正に回収し、環境循環を進めるために必要な機械設備の導入に対し助成します。

- ◆もみ殻循環設備導入支援 補助率1/3、上限額15万円
- ◆粉塵等抑制設備導入支援 補助率1/3、上限額10万円



【担当課】農政課

環境美化の推進

環境美化推進イベント事業(環境衛生費)

【予算額】20万円 (予算書P.121)

家族やグループなどで楽しみながら環境美化に貢献するイベントを開催します。

【担当課】生活環境課



Let's Try Eco啓発ポスターコンクール (環境政策推進事業費)

【予算額】15万円 (予算書P.121)

小学4年生を対象に、ゴミの減量やリサイクル、省エネ等をテーマとしたポスターコンクールを関係団体と共に実施します。【担当課】生活環境課



1.実施期間

令和3年8月1日（日）～10月31日（日）※3カ月間

2.売上金額

※応募シールの使用実績から集計

約56,700千円（最低額） ※前年33,174千円

3.予算・決算

予算5,500千円

決算5,394千円（別途、県補助金 2,032千円の補填あり）

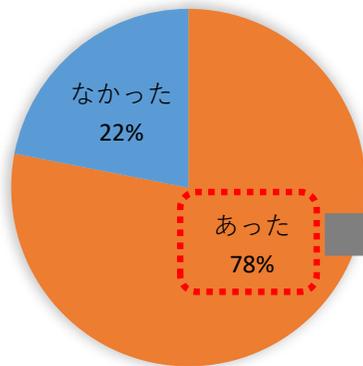


4.参加者数

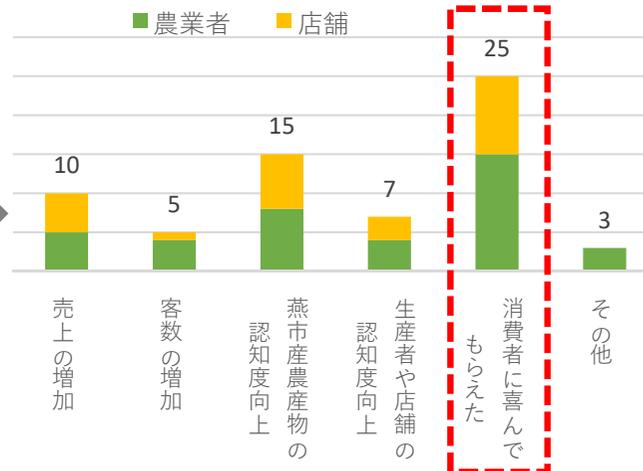
- ・ 農業者 126 ※前年 34（R2は店舗経由の65人を含まず）
- ・ 店 舗 27 ※前年 25

5.参加者アンケート結果

Q. キャンペーンに参加したことにより、効果やメリットはありましたか？

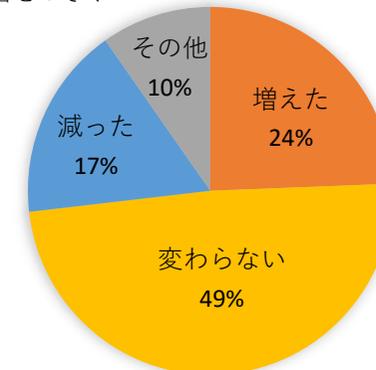


Q. 効果を感じたものはどれですか？（複数選択可）



Q. キャンペーン期間中（8月～10月）の農産物の売上数量・金額は、前年の同期間に比べていかがでしたか？

※未回答をのぞく



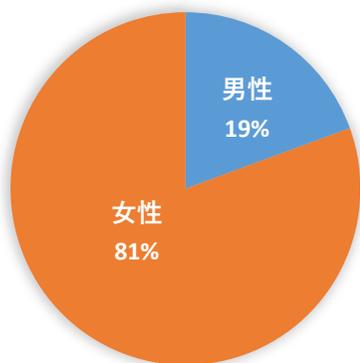
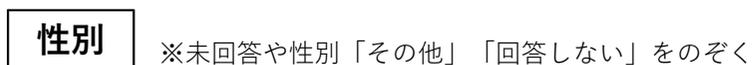
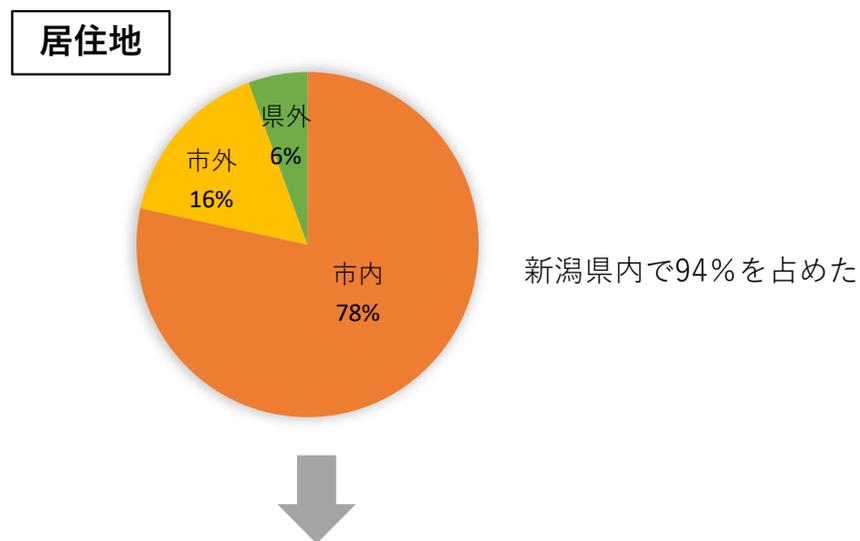
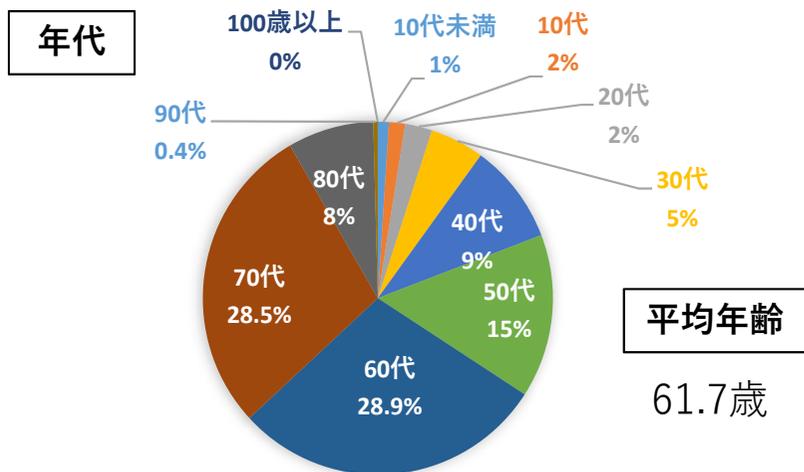
※R2年実施期間 10月～11月

6.応募総数

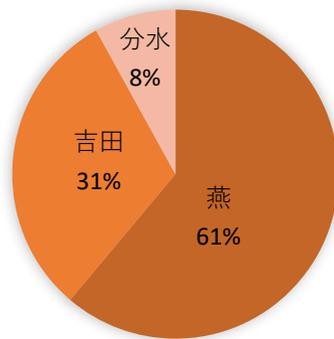
20,315通（前年比 増減+2,640、比率115%）

7.応募者の属性

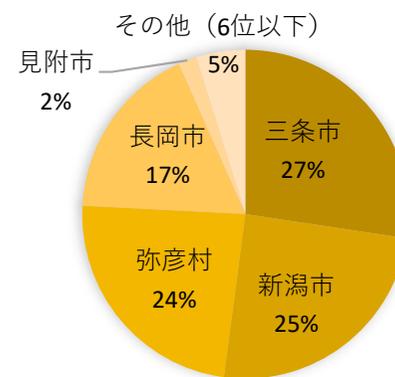
※無効分をのぞく



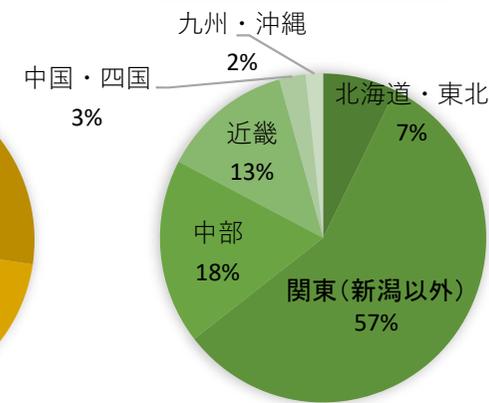
市内 地区別



市外 市町村別



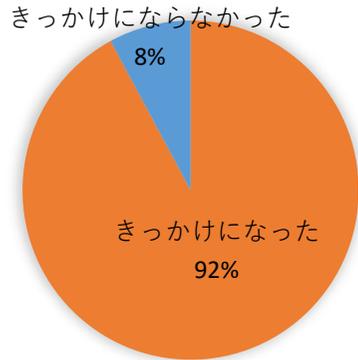
県外 地区別



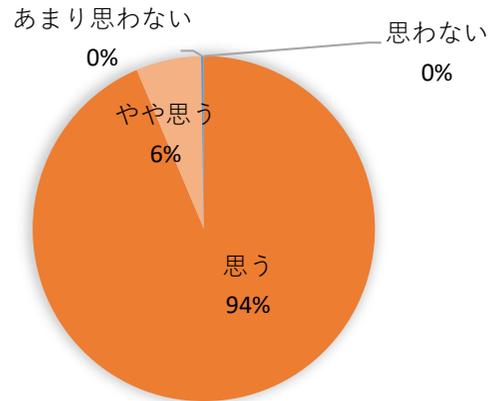
8.応募者アンケート

※応募はがきにアンケート欄を記載
※無効分、未回答をのぞく

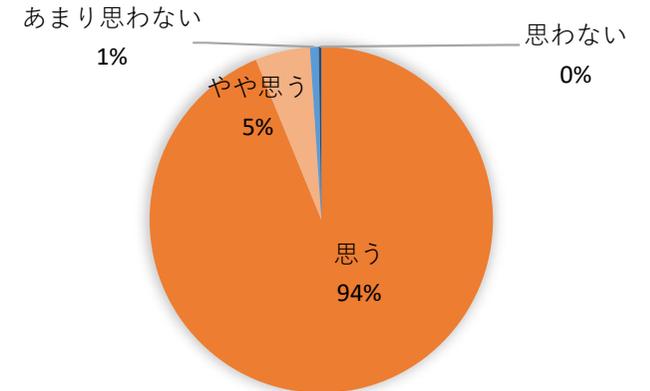
Q1.このキャンペーンは「燕市産農産物」を
購入するきっかけになりましたか？



Q2.今後、燕市産の農産物を
購入しようと思いますか？



Q3.今後も同様のキャンペーンを
実施してほしいと思いますか？



令和3年11月17日

コロナ禍で米価下落により減収した農業者に 支援金を交付します！

－本日開催の燕市議会で議決されました－

全国的な緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による飲食店等の時短要請発令など、感染症拡大による影響で外食需要が大きく減少し、米の需要が急速に減退したことから米価が軒並み下落しています。

市では、これまで様々な業種への支援を行ってきましたが、コロナ禍により、大幅な減収となった農業者に対しても直接的な緊急支援策を講じます。

■新型コロナウイルス感染症対策農業者緊急支援事業

○事業概要

	内 容
対 象 者	以下のすべての要件を満たす農業者 ・ 20a 以上耕作していること ・ 水稻生産実施計画書を提出していること ・ 市税等に未納がないこと
交付単価	10 a あたり 2,000 円
対象面積	3,250ha
予算規模	65,250 千円

○支援する面積の考え方

米の需給調整推進の観点から、経営している水田面積のうち、市が示した生産目標数量目安（経営面積の63.55%）の範囲内で支援します。

○申請書類 対象となる農業者等には申請書などを送付します。

○申請受付

申請は農政課生産振興係（燕市役所3階27番窓口）で受け付けます。また、申請に関する相談会を下記の3会場で開催しますので、こちらでも申請を受け付けます。

○申請相談会

- ・ 令和3年11月29日（月）15：00～19：30 分水公民館 1階大ホール
- ・ 令和3年11月30日（火）15：00～19：30 中央公民館 1階小会議室
- ・ 令和3年12月6日（月）15：00～19：30 燕市役所 1階つばめホール

○申請期限 12月24日（金）

本件についてのお問い合わせ先
産業振興部 農政課：酒井
電話：0256-77-8245（直通）

燕市の農業政策の実施状況

(1) 燕市の一般会計の予算規模及び農林水産業関係予算

令和3年度当初予算

燕市一般会計 39,979,000 千円

農林水産業費 876,001 千円(一般会計に占める割合 2.19%)

うち農業費 862,510 千円
林業費 13,491 千円

(2) 農林水産業費の主な事業説明

※【新規】令和3年度新規事業

(単位:千円)

主要事業名	R3 当初 予算額	前年度 予算額	事業の概要
農業振興事業	3,438	6,406	地産地消の推進、安全・安心な農産物の生産、販路拡大強化等、農業振興を図る取り組みを支援するほか、有害鳥獣の捕獲事業等を行います。なお、農作物病害虫防除協議会補助金は事業の縮小に伴い廃止しました。農産物販路拡大推進事業への事業移管(つばめ農業まつり)などにより、令和2年度比で2,968千円の減となっています。
農業担い手育成推進事業	685	833	地域の担い手である認定農業者や生産組織の確保・育成及び集落営農に向けた研修会等の開催、関係団体への研修参加等、農業従事者の資質の向上を図る活動に対する支援を行います。なお、会員の高齢化により活動が困難になった中核農家助成育成研究会等への支援は廃止しました。
農地集積・集約化促進事業	35,708	17,450	農地中間管理機構を活用した農地集積・集約を促進するため、農地集積や分散化した農地の集約化に協力する農業者に対し、機構集積協力金を交付します。なお、地域集積が3地区見込まれることなどから、令和2年度比で18,258千円増となっています。
農地中間管理事業	4,024	4,031	新潟県農地中間管理機構(新潟県農林公社)が行う農地中間管理事業について、農地中間管理機構との委託契約に基づく事務手続き等を行い、担い手への農地集積を推進します。
チャレンジ・ファーマー支援事業	10,000	10,000	農業所得の向上を目指し、農業経営の規模拡大や複合営農化、先進技術導入による省力化等を新たに挑戦する70歳以下の農業経営者等(担い手)を支援します。 ・規模拡大支援 補助率 1/4 以内 上限額 1,500 千円 ・複合営農化支援 補助率 1/4 以内 上限額 500 千円 ・先進技術導入支援 補助率 1/4 以内 上限額 1,000 千円 ※若手(50歳未満)農業者は、補助率 1/2 以内

主要事業名	R3 当初 予算額	前年度 予算額	事業の概要
農産物販路拡大推進事業	8,576	2,361	地域内消費の活性化を目的に、『つばめ食べて応援キャンペーン』、『つばめ農業まつり』の実施や首都圏での販売イベントによる燕市産農産物の販路拡大に取り組みます。 加えて、インターネットを活用し販路開拓に取り組む農業者を支援します。なお、農業振興事業からの事業移管(つばめ農業まつり)や新規事業の創設により、令和2年度比で6,215千円の増となっています。
先進技術活用推進事業	629	1,079	農業経営の大規模化に伴う労働力不足解消等の課題解決に向け注目されるスマート農業技術について、情報提供のためセミナーを実施します。また、先進技術勉強会の継続実施や実証実験等を通じて、農作業における省力・軽労化の可能性について検討します。なお、事業の実施手法を見直すことで経費を削減し、令和2年度比で450千円の減となっています。
雇用拡大型法人経営発展支援事業	6,069	6,138	地域農業の核となる担い手を育成するため、若い従業員を雇用し、積極的な経営発展を目指す農地所有適格法人を支援するとともに、農業経営規模の拡大に向けた相談会や、会計経理等の指導会を開催します。 ・雇用拡大型法人経営発展支援事業補助金 補助率 1/2 以内 上限額 3,000 千円
【R3 新規】 もみ殻等循環支援事業	1,800	—	稲刈り後の乾燥調製に伴い発生する、もみ殻や粉塵等が農村集落内の環境に影響を及ぼさないよう、有機資源として活用する取り組み等を支援します。 ・もみ殻等循環支援事業 補助率 1/3 以内 限度額 150 千円 ・粉塵等抑制対策事業 補助率 1/3 以内 限度額 100 千円
【R3 新規】 園芸作物産地化推進事業	6,250	—	米の需要の落ち込みによる米価の下落が懸念されていることから、農業所得の確保・向上を図るため、付加価値の高い園芸作物の産地化を推進し、作付拡大を支援します。 また、地域農産物の安定供給を図るため、生産者と飲食店のマッチングや一定規模の産地化を推進します。 ・園芸作物産地化推進補助金(面積要件等あり) 対象作物:たまねぎ、えだまめ 単価 30 千円/10a ・水田フル活用ビジョン推進作物補助金 対象作物:えだまめ、たまねぎ他 9 作物 単価 15 千円/10a

主要事業名	R3 当初 予算額	前年度 予算額	事業の概要
【R3 新規】 踏み出せ！農業！スタートアップ事業	1,400	—	農業の担い手確保や育成を図るため、新規就農に向けた農業技術習得や免許取得等に要する経費の一部を補助します。 また、新規参入の際の負担軽減を図るため、農地借り受けにかかる経費の一部を補助します。 ・新規就農者技術習得支援補助金 補助率 1/2 以内 限度額 100 千円 ・新規参入者農地確保支援補助金 補助率 1/2 以内 限度額 300 千円
畜産振興事業	945	566	家畜伝染病の発生を予防し、畜産農家の経営の安定と生産性の向上を図るため、予防接種等への支援を行います。 令和 3 年度は、近年流行している豚熱の予防接種を対象とするため、令和 2 年度比で 379 千円の増となっています。 ・家畜自衛防疫事業補助金 補助率 1/2 以内 ・豚肉品質向上事業補助金 補助率 1/5 以内
国営土地改良事業	24,861	6,055	平成 18 年から平成 30 年にかけて施工された、国営新川流域農業水利事業の負担金 24,861 千円を支出します。
県営土地改良事業	58,995	46,106	排水対策及び農地の汎用化を推進するために行う県営かんがい排水事業、経営規模の拡大と大型機械導入による生産効率の向上を図るために行う県営経営体育成基盤整備(ほ場整備)事業及び農業用排水施設ならびに付帯施設の新設、廃止、変更整備を行う県営ため池等整備事業に対し負担金を支出します。なお、令和 3 年度は事業量の増加により、令和 2 年度比で 12,889 千円の増となっています。
土地改良事業負担金補助金	46,557	40,282	農業用排水路整備等の良好な農業生産基盤の確保・保全と農業生産性の向上を図るために、土地改良区が行う土地改良事業に対し負担金や補助金を交付します。なお、排水に関する経費の増加により、令和 2 年度比で 6,275 千円の増となっています。
基幹水利施設管理事業	15,050	14,289	国営西蒲原排水事業で造成された御新田放水路制水ゲートに係る運転操作業務の負担金及び維持管理業務に係る委託料を支出します。なお、施設整備の増加により、令和 2 年度比で 761 千円の増となっています。
農道・集落道維持管理事業	1,470	1,770	農道の維持管理を行います。 なお、国上連絡道の補修箇所減少により、令和 2 年度比で 300 千円の減となっています。

主要事業名	R3 当初 予算額	前年度 予算額	事業の概要
市営土地改良事業	5,725	1,862	国が分水西部地区において、大河津分水路改修で発生する掘削土砂を活用し、1ha 区画を基本にほ場を再編し、併せて用排水路及び農道の整備を行います。 燕市は、国の施工状況に合わせ、ほ場整備に伴う換地業務を行います。なお、換地業務の増加により、令和 2 年度比で 3,863 千円の増となっています。
市営土地改良事業	5,725	1,862	分水西部地区において、大河津分水路改修工事で発生する掘削土砂を活用し、国が 1ha 区画を基本としたほ場再編、用排水路及び農道の整備を行います。 燕市は、ほ場整備に伴う換地業務を行います。なお、換地業務の増加により、令和 2 年度比で 3,863 千円の増となっています。
【R3 新規】 河川工作物維持管理 事業	1,526	—	信濃川の堤防に設置されている排水樋門ゲートが劣化しているため補修を行います。
水田経営力強化推進 事業	54,872	74,472	需要に応じた米づくりを推進し、適正な米の需給調整を図るほか、大豆の品質向上への取り組み支援や、今後需要が見込まれる輸出用米の生産拡大を推進します。また、直播栽培の作付拡大及び環境保全型農業への取り組みを支援します。なお、事業見直し等により、令和 2 年度比で 19,600 千円の減となっています。
多面的機能支払交付 金事業	396,105	399,434	農業者等による組織や地域住民を含む組織が一体的に取り組む、地域資源の基礎的保全活動等の多面的機能を支える草刈りや水路の泥上げ等の共同活動、地域資源の質的向上を図るため水路や農道の軽微な補修等の共同活動、老朽化した施設の長寿命化のための活動を支援します。
環境保全型農業直接 支払交付金事業	3,714	3,132	環境保全に効果の高い営農活動の普及推進を図っていくため、国の施策である「環境保全型農業直接支払交付金事業」の要件(国際水準 GAP に取り組み、地球温暖化防止、生物多様性保全等、国の条件にあった営農活動)を満たす農業者の活動を支援します。なお、取り組み農家の増加が見込めることから令和 2 年度比で 582 千円の増となっています。
林業総務費	131	132	林業振興や森林整備、治山事業等の活動を行う関係団体への負担金を支出します。
林道維持管理事業	6,087	1,820	森林の有する多面的機能を保全し、林道等の環境整備及び施設の維持管理を行います。なお、林道の修繕工事を行うため、令和 2 年度比で 4,267 千円の増となっています。
【R3 新規】 森林整備費	276	—	森林保護や保全活動などの必要性や共同活動への理解を深めるほか、森林資源の利活用を図るための啓発事業を行います。